

氏名	清水 新悟	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	義肢装具学 スポーツ工学 動作分析				
学位	博士(学術)				
学歴	名城大学博士前期課程修了				
経歴	医療法人三仁会(平成15年4月~平成26年3月) 北海道科学大学(平成26年4月~令和4年3月)				
所属学会(役職)	日本義肢装具学会(正職員) 日本理学療法学会 日本整形外科スポーツ医学会 臨床スポーツ医学会 バイオメカニズム学会 日本足の外科学会 日本義肢装具士協会(編集委員)				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	足関節底背屈角度が足趾屈筋力に及ぼす影響	共著	あり		靴の医学.vol.35 78-81	清水新悟 加藤幸久
2	足底腱膜炎の疼痛箇所と後足部アライメントからの足底挿板製作指針	共著	あり		日本義肢装具学会誌.38巻3号.244-247	清水新悟 安藤靖広 伊藤岳司 花村浩克
3	右第2中足骨疲労骨折を呈したバレエダンサーに対し足底挿板療法が得られた1症例	共著	あり		POアカデミージャーナル.Vol 30 No.1 44-48	清水新悟 佐橋政次 花村浩克
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	外反扁平足1症例に対する踵骨ニュートラル誘導型足底挿板の有効性	共同		第141回北海道整形災害外科学会(北海道札幌市)	○清水新悟	2022年7月
2	カーボン足底挿板の開発についての検討	共同		第28回日本義肢装具士協会学術大会(岡山県岡山市)	○清水新悟	2022年7月
3	扁平足に対する足底挿板療法が肘屈筋に与える影響	共同		第38回日本義肢装具学会学術大会(新潟県新潟市)	○清水新悟	2022年10月
4	ニュートラル型ポジション誘導型足底挿板による足部アーチ改善が得られた1症例	共同		第11回日本支援工理学療法学術大会(オンラインでの開催)	○清水新悟	2022年12月
5	足底挿板が肩関節周辺筋力に及ぼす影響	共同		第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会(北海道札幌市)	○清水新悟	2022年11月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	第3回産学連携シーズ発表会	単著		オンラインでの開催	○清水新悟	2022年8月
2	大学・研究機関シーズマッチング会	単著		オンラインでの開催	○清水新悟	2022年12月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	共同研究費			踵骨ニュートラル誘導型足底挿板の有効性	研究代表者: 清水新悟 研究分担者: 高田彬博	2022.6.1~2023.4.30
2	奨励研究費新任			アーチサポートが必要な衝撃吸収素材を選定できる評価方法の確立	研究代表者: 清水新悟 研究分担者: 裴艶玲 大日方五郎	2022.9.1~2023.3.31
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	義肢装具学		15	義肢装具の名称や機能、適応を基礎から臨床応用まで学び、切断の評価からリハビリテーションを理解できるように工夫した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎運動学演習		10	姿勢制御について人の重心を理解し、転倒しないように身体が反応するシステムや関節モーメントを学ぶことで立位姿勢の保持を理解できるように工夫した。
2	臨床運動学演習		30	脳卒中片麻痺の歩行動作と大腿切断の義足歩行動作を見て動作分析を行った。2種類の歩行を確認し、その違いを述べられる様に行った。
3	理学療法セミナー1		2	臨床教育実習に学生が行く前の評価のテストである。
4	理学療法セミナーII		2	臨床教育実習に学生が行く前の理学療法のテストである。
5	理学療法学研究法演習		1	どんな研究を行っているのか、スライドを使用して研究アピールを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	義肢装具学実習		45	実際に切断者を評価し、切断リハビリを理解する。また模擬義足を装着しての義足歩行練習なども取り入れることで義足歩行の難しさを体験する。
2	IPW実習		45	オンラインにて開催。各学生に名前と呼ぶようにし、敬語を使用しないで話しやすい環境を作った。
3	日常生活活動指導実習		18	福祉用具などを施設に行き実際に見たり触ったりして体験するように工夫した
4	義肢装具学実習 (OT学科)		4	作業療法学科に義足と切断の評価方法と模擬義足体験の実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本義肢装具学会研修セミナー	日本義肢装具学会	セミナー幹事 足関節靭帯損傷	2022年8月
2	補装具支援のあり方研究会	専門リハビリ	世話人および座長	2023年2月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	該当なし			
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			